江戸地名攷

全

860
32

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』 請求記号 860-32

ガラス使用

岡本保孝自筆

江戸地名攷

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』 請求記号 860-32

ガラス使用

岡本保孝自筆

江戸地名攷

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32

ガラス使用

860-32

江戸地名攷

江戸 山中氏ノ中古治亂記十五巻アリコレ書ニ江戸城草創ノ事ヲ載ス其略ニ云扇谷上杉修理大夫定政の老臣太田備中守資清入道真友ト云武州荏郡太田郷の地名ニ仍太坂ト云偏号歟千代丸ト云兩長ニテ後ニ備中ト改資長判ニ仕侍中ヨリ改資長ト云ヒ代々ニ遠灌ト称ス兩山の條ニ詳ニ縄張ニテ長禄元年四月ヨリ二年ニ閏ヨリ成就ス云々ト云ヒ東ハ江戸城高名河(ママ)我公豪気甲東吾妻鏡千秋雪ノ條ニ東ハ小(ママ)都ヨリ又五山ヨリ始リ云々ト云ヒ東ハ江戸ヲ限リ南ハ鎌倉ヲ行ク鎌倉街道ノ事ト云ヒ西ハ大山ヲ限リ北ハ入西ノ事ト云ヒ是ヲ以テ之ヲ考ルニ天正年中ニ入国以前ニ江戸ト云ヒ大体ノ地名アリシト云ヒ又当川ノ流ハ今ノ土手三崎稲荷ノ辺ヨリ一條ノ堀ニテ外桜田ノ方ヘ出テ其ノ堀ノ内ヲ江戸ト名ケ其ノ北ノ方ヲ平川ト名ケ

拾捜市ノ内　古洋坂ト訛ル古名アリ

扇稲荷　里俗ノ内

吹上

番町

三年坂　生　○追考

貝坂　糀町

芝　平維章ノ采邑訛ニ云足利家ノ管領子斯波氏ノ○追考ニ説アリ

赤川

神楽川

三田

高輪ノ内坂ヨリ北ノ方ヲ白金ト云ヒ坂ヨリ南ノ方ヲ高輪ト云ヒ坂ノ名ニ非ス

浄瑠璃坂　坂上ニ浄瑠璃ノ芝居アリシ故ニ名ク

古内坂　古ノ名主代々古内左内ト云ヒシ故ニ名ク

梅林　俗ニ御殿内

汐踏坂　高輪ト芝ノ人家トノ間ニ在リ坂ノ上ヨリ海ヲ見ル事ヲ得ヘシ故ニ名ク

もくの森　モケノキ

江戸見坂　江戸ヲ見ル故ニ名ク

権兵衛坂　今ハ家多クシテ海ヲ見ル事ヲ得ス

薬研坂　薬研ノ形ノ如シ

地獄谷　谷ノ形ノ如シ

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32　ガラス使用

月桂院　生
粉町橋ヨリ町月橋二町目
宇田川町
三河路
霊巌嶋
八町堀
稲荷の井
粉の町の井
淀橋
三枚橋
かつかい橋
南金橋
葉茶橋
亀塚
梅若塚
長命寺

月桂院殿ト云ヘル浄土宗ノ尼寺ハ本所横網町ニ在リ
境内ニ小祠アリ月桂尼ノ像ヲ安ス
月桂尼ハ平安山月桂院ト号ス
今ノ地名ハ元ト此寺ノ門前ニ出来タル町名ヲ以テ此地ヲ呼ヘルナリ
宇田川町ハ元ト宇多川ト書シヲ後ニ改メシ名ナリ
往古ハ東ノ方三河ヨリ出テ此地ヲ過テ江戸湾ニ入ル川アリシヨリ名ヅケシ名ナリ
元ハ三河ノ国ヨリ来リシ人ノ居住セシ地ナルヨシ
霊巌嶋ハ霊巌寺ノ門前ヨリ対岸ヲ望ム一小嶋ニシテ古ヘハ洲崎ノ如キ地ナリシヲ
八町堀ハ八町四方ノ掘割アリシニヨリ名ヅケシ名ナリ
稲荷ノ井ハ稲荷ノ社ノ傍ニアリシ井ノ名ナリ
粉ノ町ノ井ハ三谷ノ木ヲ掘リテ井ヲ造リシ方ヨリ流レ出ヅル意ナリ

淀橋　元ハ架ケシ橋ノ名ヲ以テ今ノ橋ニ名ヅケシナリ
三枚橋　三枚ノ板ヲ以テ架ケシ橋ナリ
かつかい橋　後悔橋ヲ訛リテ後悔ヲ言ヒ消シ難キニ付キ
小夏橋ヲ言ヒ換ヘシナリ
南金橋　下ノ方ノ渡ノ名ナリ
葉茶橋　葉茶ヲ売ル家ノ傍ニアリシ故ニ名ヅケシナリ
亀塚　亀井戸ノ近傍ニアリシ故ニ名ヅケシナリ
梅若塚　梅若ハ人ノ名ニテ謡曲ニ作リ出シ事ヲ以テ塚ヲ築ケリ
長命寺ノ条　境内ニ名ヲ取ル名木アリシヨリ名ヅケシナリ

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32
ガラス使用

右

踏云山ノ一ツ（慶安撰図ニ有）元禄入道書ノ
入ヒトリ又一道ノ路ニ源茶之人ノ家ヲ
孝安ノ書ニ本二冊ヲ写シテ江戸ノ地ヲ
ヨリ書ヲ写シ自ラノ説ヲ
ノ條目ニ天和ノ若キヨリ貞享年中ノ
トヨリヤ至ル一戸田茂睡ノ
ソノ書ノ
ル所ニ戸田氏睡ノ著述トイヘリ

江戸

平家物語九ノ巻 敦盛最期 江戸四郎重春 （範頼ニ従テ
平家ノ責ヲ
（柳営後鑑下巻ノ所収ノ図ヲ
天ノ倉

紫ノ一ツ
半蔵御門 江戸城ノ門ノ名ハ元和ノ頃ノ御所ノ図ニ
ノ外ニシテ
本丸ノ北ニアリ
本丸ノ北ニアリ
未詳
ノ堀ノ内ニ
ホリ 三ノ河岸
八官町
安針町
山王
津久戸明神
津久戸八幡 永享記ニ此名アリ
駿河ノ意

（武州川越ト仙台トヲ著ス
ソノ
ソノ
ル所ニ
ヨリ
ル
ヲ云
ヲ云
ヲ云

雪見町
飯田町
雉子橋
一橋
竹橋
神田山
雪山
まるき穴
さし坂
番町

[illegible]の如くに小考の誤未だ[illegible]
[illegible]
飯田の往古飯田村と称し
雉子橋 此所[illegible]人家の[illegible]
[illegible]いひて今[illegible]雉子の橋と云[illegible]
[illegible]
一橋 [illegible]
竹橋 [illegible]
神田山 [illegible]
雪山 [illegible]
まるき穴 [illegible]
さし坂 [illegible]
番町 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

牛込御殿山　寛永の比大猷院殿御別荘假屋形ありし　今筑前守の屋敷と寺ら地と

筑地

築戸

七軒寺町　牛込

大友左京　横町辺

天神町　横町辺

高田

穴八幡

染屋横　俗ニ横ト云

小石川　宗祇ノ田園記ニもあり　今ハ実ニアラスヨシ

梨坂　九段辺

富坂　元ハ茗荷坂ト云　茗荷多ク生ス

大塚

鶴場　柏崎ノ横ノ町ノ方

本郷　北條方限帳又治亂記

下谷

忍岡　○此江筆ニ寛永年間ノ造地ト云天海ノ墓ニシテ廟山ノ林麓竹生嶋ノ模ト云リ
浅草川ノ普請アリシ公用終リテ其人足ヲシテ新嶋ノ築シメラル

長者町

菅町

亀町

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32　ガラス使用

楊場

本所　本居翁ここを元禄年中故ありて移さる

梅若　文明の比ここ山谷橋川史景三の沽茶亭あり
　　巻五石梅兒家詩あり
　　千駄ヶ谷八幡ノ前

蘭倉ヶ

豊島村　隅田川辺

安房殿町　岩川

ちちの木坂

細干坂

諏訪町

本所緑町

追放

波切不動

山吹ノ里　高田辺　太田乃蒲の雨具を売まし故事あり

白魚ノ池　江戸川辺久永氏宅地ニアリ

目白

本所寧府天満宮

江戸廻り　禁家分限帳ニ江戸廻りト称スル地名多クアリ
　　千住吉川　市ヶ谷ト谷　池田　等ニ今里ス

僧司ヶ谷

本庄　一丁目ニ　口統畸人傳巻二杉山檢校傳及林長孺鶴梁記鈔巻六杉山公和之志碑文

八町堀

江戸川

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32

ガラス使用

駒形　浅草

巻一　江戸屋敷の始　慶長年中両国橋より下の方今の御蔵前辺迄江戸の内にて洲崎なりし由見えたり

雑子橋　口碑に筆者曰ふ昔雑子を売る者此辺に多く住みしより名とす

一橋

竹橋

山上　酒井忠昌ノ南向茶話ニアル処ノ地名ニコノ外ニモアルベシ忽卒ノトキ一読シテ抜出スレハ後日再読ニ及ハス

ノナリ天保戊戌後四月廿九日浣齋国孝識（忠昌ハ室町ノ末ノ話ナレハ有徳院様ノ御代ノ人ニ）

浅草

金龍山

雷天神

巻二　一里塚

巻五　待乳山

梅若

鏡の池

江戸城　東照宮御入国ノ天正十八庚寅ノ初ヨリ慶長八年癸卯ニ至ル

富士見矢倉

吉原　元和三年丁巳ノ初ヨリ

後の橋

日本橋　巻二一里塚ノ条ニモ

巻五　慶長八年癸卯ノ初ヨリ二百十四年ノ後ニ

三ノ丸　慶長十一年丙午ノ初ヨリ

寛永寺　慶長ノ末ニ天海僧正ノ草創ニ係ル

新勅撰弁基法師ノ歌ヨリ編ミいちさきの条ニ

（考ル尚向茶話ニモ三囲ノ話ヲ作ル梅若ノ事ハ

ナシ）

勝他吐懐　生天神ヲ宗旨トスル人等ノ云ヒ

ソヘタルモノナルヘシ

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32　　ガラス使用

湯島天神

巻二

○太田道灌略譜 文明十年秋道灌宴坐一室夢中見梅菅丞相其翌早有人卒然来扣門謁菅丞相祠堂（湯島天神是也）

巻六

江戸名所

の 名義判

梅園の記

芝神明

此社年表ニ曰ク 昔ハ潮入ノ地ニテ海中ニ枝ナノ竹ヲ並ベ立テ魚ノ入ルヲ待テ取ルヲ以テ業トスル者多シ今モ海苔ヲトルニ此ヒビヲ用ユ故ニ此ノ名アリ

此社年表ニ曰ク 日比谷

神田

雉子町

鉄炮洲

寛永年間云井上稲富両家大筒の町内ヲ試ラレシ所ヲ後築立テ

小石川

此地

宝永ノ比ニ本高保九年焼

堺町イマシ葺屋町ト云

国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32　　ガラス使用

5395

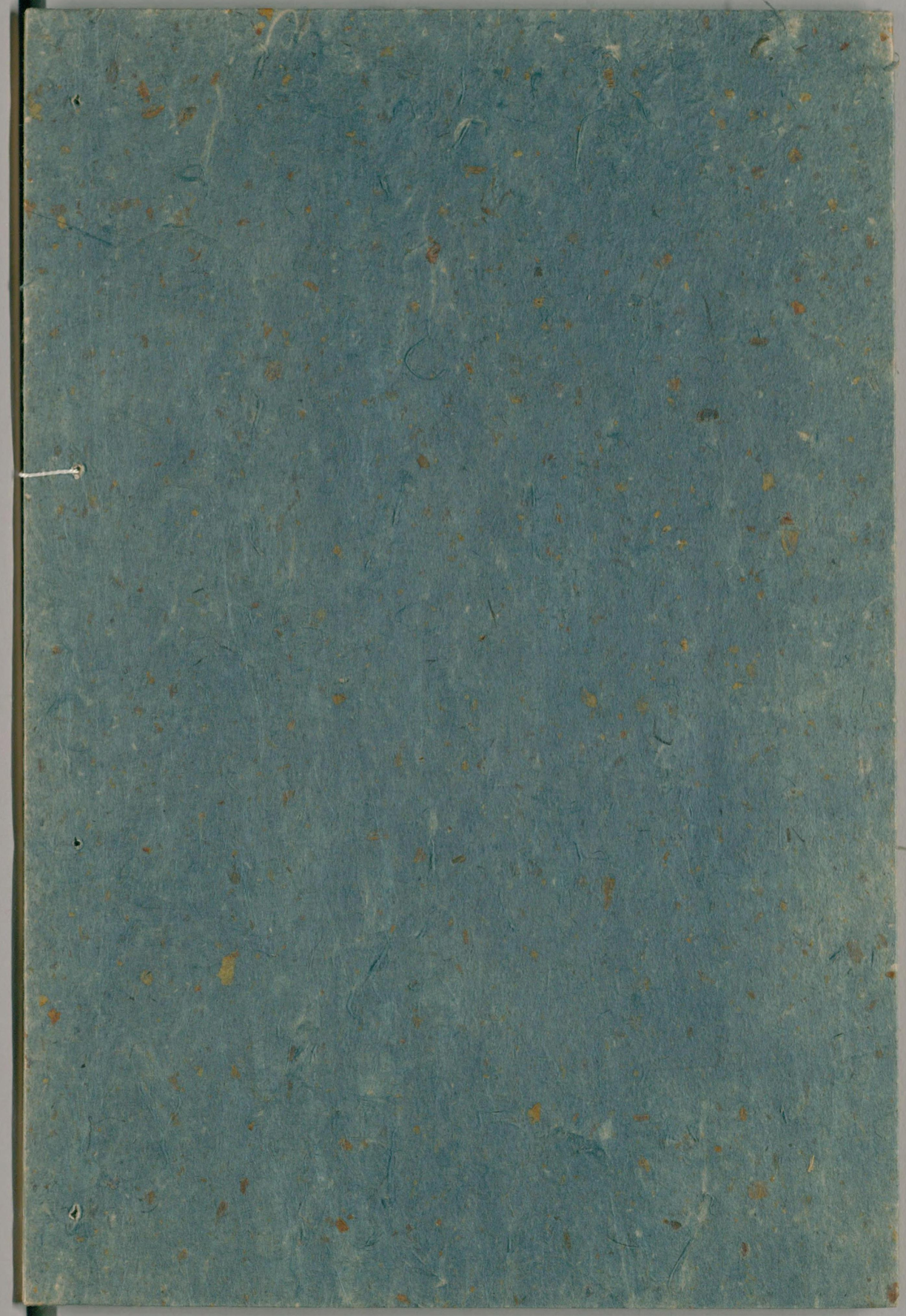
国立国会図書館　タイトル『江戸地名攷』 請求記号 860-32

ガラス使用

860
32

国立国会図書館　　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『江戸地名攷』　請求記号 860-32

ガラス使用